

# 技能章・研究ノート

## 計測章

※技能章・研究ノート活用については、「技能章・研究ノートについて」を参照

参考書籍：スカウトハンドブック

進歩の手引き

ボーイスカウトハンドブック⑤計測

スカウトスキル・セレクション

日本ボーイスカウト愛媛県連盟

松山地区 第 団

氏名 \_\_\_\_\_

スカウトへ、知っていますか？

- 学校の授業は、学習指導要領に基づいて行われています。
- 学校で使用する教科書は、学習指導要領に沿った内容であるかどうか、国が検定をおこなっています。その学習指導要領に合致した教科書を学校の授業で使用しています。
- 極々一部の有名難関私学を除いて、入試においては、これまで学習してきた内容を問うています。言い換えれば、学習指導要領に沿って、これまで学習したことが出題されるということです。入試でさえそうなのだから、普段の学校でのテストはなおのことです。
- 試しに、近隣の公立高校・私立高校の過去の入試問題とその解答を片手に、教科書を隅々まで読んでみてください。  
教科書のどこかに記載があります。(教科書に無いという場合は、君が見落としています。もう一度よ〜く見直して、隅々まで、表題や最初の解説、図の下に書いてある語句や欄外など読み飛ばしてないかな?)。
- 教科書が手元にない場合は、書店に行けば、各学校で使用している教科書ごとの教科書ガイド(完全準拠)というのがあり、教科書の内容に完全準拠したものがあります。(詳しくは書店の店員さんにお尋ねください。)
- 学習の基本は学校の授業であり、教科書です。暗記が不十分なのか、理解が不十分なのか、練習が不十分なのか・・・それによって、どういう家庭学習が必要なのか変わってきます。
- スポーツでも勉強でも、身体や脳のリフレッシュがあつて、はじめて能力がアップします。適切な睡眠時間が、活動中にかかった負荷に応じて、身体や脳を整え強くします。
- 適度な運動は血の巡りを良くし、脳にも大変よい。
- 学校の授業、先生の話に集中すること(一言も聞き漏らさない覚悟ある集中)が一番大切です。生活リズムをしっかりと整えましょう。
- 集中力を高める一番の方法は、好きなことをする時間を確保し、その時間は夢中になることです。ただし、ただだらやらない。好きな事にすら集中できないのに、勉強に集中は出来ません。
- 睡眠不足では集中出来ません。質の良い睡眠を確保するためには、適度な運動も必要です。夜、スマホやTVゲームを遅い時間に行っていると脳が刺激され、寝付けなくなります。
- 教えてもらうばかりでなく、自分で根気よく考え、頭を悩ませる時間も大切です。
- 読解力は、どの教科にも共通に大事なことです。耳も目も口も使う音読で、意識して読む。すらすら音読できないうちは、理解も暗記も出来ていない証拠です。数学も同様ですよ。数学が本当に良くできる者は国語ができます。国語が本当によくできる者は数学ができます。
- 『よく学び、よく遊べ』であり、『文武両道』、『心技体』が大切です。
- 授業中は先生の話に集中し、黒板に書いてあることで必要なら教科書に鉛筆で線を引く、教科書の余白にメモしておく。ノートにまとめる必要があるなら、落ち着いた自宅で、復習の際、まとめればよい。なぜなら、教科書に必要なことはすべて記載があるからです。必要なことが記載されていない教科書は学校では使用されません(教科書検定で不合格になります)。最初は普通の鉛筆で線を引くなどしたのでよい。最初から色鉛筆だと覚えた後、消せないのです・・・。
- 先生の話と教科書をしっかりと観察することが基本です。
- 基本がしっかりしていないと、応用ばかりやっても無駄になります。基本を大切に。

学校の教科書などで、三角形や四角形がでてきます。

班や隊のハイキングなどで、公園や河川敷に行く計画をするのも方法です。

教科書の写真やイラストではなく、実際に計測することにより、印象に残るでしょう。

そうすれば、勉強も技能章も一挙両得です。

(1) 自分の身体や身边にあるものを用いて簡単な計測を行う。 **初級3(1)共通**

スカウトハンドブック P. 26~27、126~131、進歩の手引き P. 50

ボーイスカウトハンドブック⑤計測 P. 7~14

※星座観察・ハイキング・野外工作など、いろんな場面を想定して、調べてみよう。

(2) ロープに1m刻みの目盛りを施し、計測に使える。

※練習用のロープや別に用意したロープでもいいぞ。

(3) 100mの距離を誤差5%以内で歩測する。

**2級3(5)①共通**

スカウトハンドブック P. 130

ボーイスカウトハンドブック⑤計測 P. 15~17

関連技能章8. ハイキング章(6)Mキングで野帳をつけ、またその野帳によって略地図を作る。 **1級3(5)③共通**

※安全で十分な広さのあるところが身近にない場合は、往復するなどして、工夫してみよう。

身体の部位や歩幅・歩数など	

集会などでよく使う物	

※班旗の棒は？

(4) スカウトペースで 2 km を 15 分で移動する。

2 級 3 (5) ② 共通

スカウトハンドブック P. 130

ボーイスカウトハンドブック ⑤ 計測 P. 95～103

※1 km だと 7 分 30 秒となります。

※地形図などで距離を確認してみよう。

※安全で十分な広さのあるところが身近にない場合は、往復などで工夫してみよう。

※曲がり角や交差点・見通しの良くない所などで、飛び出しなどしないこと

(一旦停止し、左右確認、安全第一)

普段よく行く場所など、距離と歩行時間が分かっていると便利だ		
※車両や歩行者と接触するなどの危険がない、見通しの良い安全なところ(区間)なら、スカウトペースの練習に丁度良い。		
区間	距離	時間
～		
～		
～		
～		
～		

(5) はかりや計量器を使わずに、1 合の米・1 l の水を 15% 以内の誤差で量る。(目分量)

2 級 3 (5) ③ 共通

スカウトハンドブック P. 129、進歩の手引き P. 51

※キャンプ中の雨天時のゲームなどにも使えるぞ。

(8) 計測を採り入れた集会を計画、実施を行う。

※ハイキングやキャンプを計画し、そのなかで行うのもよい。

(6) 自作の簡易測量器具を使い、樹木などの高さを誤差 10%以内で測る。

1 級 3 (5) ① 共通

スカウトハンドブック P. 133

ボーイスカウトハンドブック⑤計測 P. 62～69

※器具の先や角で目を突かないよう、先や角を丸めて、怪我をしないようにしておこう。

簡易測量器具の概略図
簡易測量器具の使い方
実際に測ったものの高さ

(7)簡易測量法を用い、到達できない2点間の距離（長さ、高さ）を誤差10%以内で測る。

1級3(5)①共通

スカウトハンドブック P.132~135、進歩の手引き P.51

ボーイスカウトハンドブック⑤計測 P.39~40、22~61、67

※器具の先や角で目を突かないよう、怪我をしないように取扱に十分注意しよう。

到達できない2点間の測り方、縮図や三角形を利用した方法など考えてみよう。	
高さ	長さ
実際に測ったもの	
高さ	長さ

※簡易測量器具やシルバーコンパスのクロスベアリング(二点確認法)など利用できそうだ。  
 ※学校で習った合同や相似、辺の比率に特徴ある三角形などが使えそうだ。  
 ※縮図と言え、地形図も縮図だな・・・。

その他の簡易測量法（自分が得意な方法など研究してみよう。）
